

令和 5 年学力検査

全 日 制 課 程

第 3 時 限 問 題

社 会

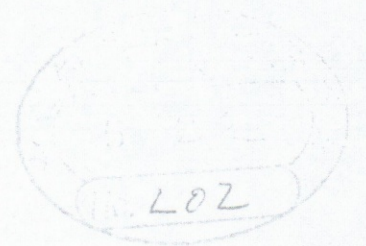
検査時間 11時30分から12時15分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

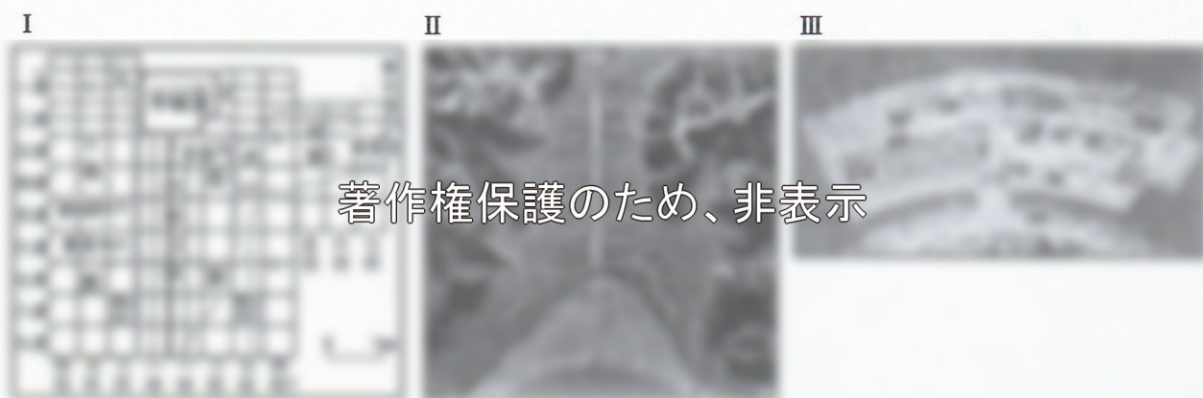
- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (3) 問題は(1)ページから(10)ページまであります。表紙の裏と(10)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (4) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (5) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (6) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---



社 会

- 1 次のⅠ，Ⅱ，Ⅲの資料は，生徒が日本の都市の歴史についてレポートを作成するために用意したもの的一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。



著作権保護のため、非表示

- (1) 次の文章は，Ⅰの資料について説明したものである。文章中の(①)，(②)にあてはまる国名や寺院名として最も適当なものを，下のアからキまでのの中からそれぞれ選びなさい。

Ⅰの資料は，奈良時代の都の略地図である。この都には，当時シルクロードで結びついてきた(①)といった国々の物品が集まった。こうした物品の一部は(②)の正倉院に納められ，現代に伝えられている。

- | | | |
|------------|------------|-------|
| ア イスラム帝国や漢 | イ イスラム帝国や唐 | |
| ウ モンゴル帝国や宋 | エ モンゴル帝国や明 | |
| オ 興福寺 | カ 唐招提寺 | キ 東大寺 |

- (2) Ⅱの資料は，幕府がおかれていた，ある都市を復元した模型の写真である。この都市に幕府がおかれていた期間のようすについて述べた文として最も適当なものを，次のアからエまでのの中から選びなさい。

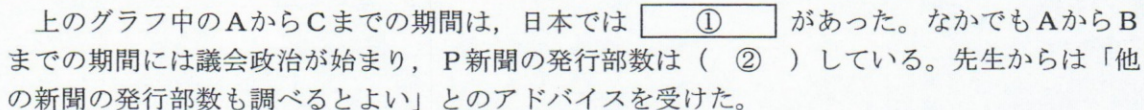
- ア 城を中心に武士や町人の居住地が配置され，100万人以上の人が住んでいた。
 イ 有力な商工業者たちによる自治が行われ，南蛮貿易などの交易で栄えていた。
 ウ 日蓮宗の開祖となった人物が布教活動を行い，信者を増やしていた。
 エ 真言宗の開祖となった人物が寺院を与えられ，貴族の信仰を集めていた。

- (3) 次の文章は，Ⅲの資料について説明したものである。文章中の(③)，(④)にあてはまる国名の組み合わせとして最も適当なものを，下のアからエまでのの中から選びなさい。
 なお，文章中の2か所の(③)には同じ国名があてはまる。

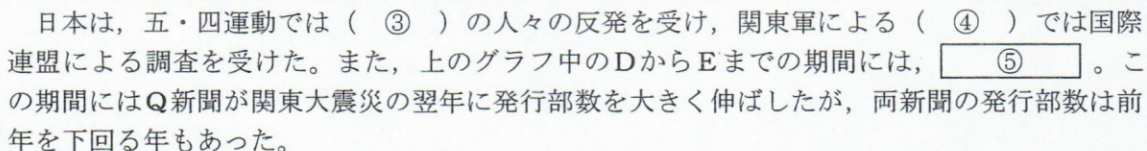
Ⅲの資料は，江戸時代，(③)商船で来航した商人との交易が行われていた人工の島を描いたものである。(③)は，アジアとの交易で繁栄したが，19世紀になると，18世紀末の革命に際して人権宣言を発表した(④)の支配を受ける時期もあった。

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| ア ③ 中国 | ④ フランス | イ ③ 中国 | ④ アメリカ |
| ウ ③ オランダ | ④ フランス | エ ③ オランダ | ④ アメリカ |

I



II



III

戦球野業職の初最本日

読む方向

IV



V



著作権保護のため、非表示

- エ 毎年増加 オ 毎年減少 カ 年によって増減

- ケ 物資が不足する中、海外からの引きあげ者もあり、物価が急激に上昇した

- IVの新聞記事にある戦争は（⑥）の対立を背景にして始まった。見出しを読む方向から考えて、仮説が正しいとすれば、この記事が新聞に掲載されたのは（⑦）であり、仮説は正しくないことがわかった。

- | | | |
|---|---------------------|--------------------|
| ア | ⑥ 社会（共産）主義陣営と資本主義陣営 | ⑦ 敗戦前となるが、実際には敗戦以降 |
| イ | ⑥ 社会（共産）主義陣営と資本主義陣営 | ⑦ 敗戦以降となるが、実際には敗戦前 |
| ウ | ⑥ 朝鮮半島を巡る日本とロシア | ⑦ 敗戦前となるが、実際には敗戦以降 |
| エ | ⑥ 朝鮮半島を巡る日本とロシア | ⑦ 敗戦以降となるが、実際には敗戦前 |
| オ | ⑥ この地域における宗教間 | ⑦ 敗戦前となるが、実際には敗戦以降 |
| カ | ⑥ この地域における宗教間 | ⑦ 敗戦以降となるが、実際には敗戦前 |

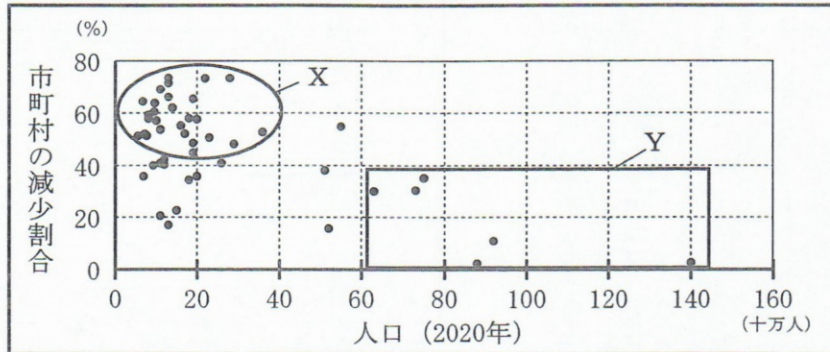
- 「^{ばいしん}陪審法」は、現在の裁判員制度と同様に国民が（ ⑧ ）することを目的としてつくられた。この法律が実際に実施された年代から、Ⅴの新聞記事は仮説を否定するものであることがわかる。この法律が実施された年代には、選挙権は一定の年齢に達した（ ⑨ ）に与えられており、この法律でも陪審員（現在の裁判員）をつとめる者の資格の一つとして、同じような規定があった。

- ア ⑧ 裁判を傍聴 ⑨ 国民のうち男性のみ イ ⑧ 裁判を傍聴 ⑨ 全ての国民
ウ ⑧ 司法に参加 ⑨ 国民のうち男性のみ エ ⑧ 司法に参加 ⑨ 全ての国民

3 次のⅠからⅣまでの資料は、生徒が各都道府県の今後の課題などについてグループで学習した際に用いたものの一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

なお、Ⅱの資料中のAからDまでは、秋田県、神奈川県、千葉県、鳥取県のいずれかであり、P、Qは、人口に占める65歳以上の割合、有業者に占める第三次産業の割合のいずれかである。

Ⅰ 全都道府県の市町村の減少割合と人口



(総務省統計局ウェブページなどをもとに作成)

(注)「市町村の減少割合」= (「1999年の市町村数」-「2010年の市町村数」) ÷ 「1999年の市町村数」

Ⅱ 4県の人口等

県名	P (%)	Q (%)	人口 (十万人)	米の産出額 (億円)	海面養殖業 収穫量 (t)
A	37.2	66.6	9.6	1 126	166
B	32.1	69.3	5.5	151	1 335
C	27.9	77.6	62.8	689	5 702
D	25.3	78.1	92.4	33	946
全国	28.4	72.5			

(「データでみる県勢 2022年版」をもとに作成)

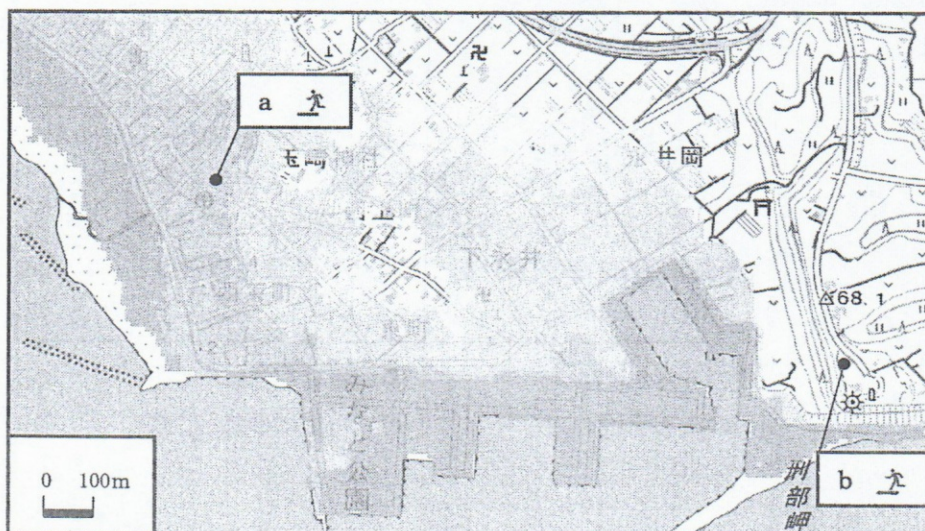
Ⅲ 鳥取県の取組の一部

SDG s のゴール (アイコン)	SDG s のゴール達成のため向上を目指す指標
Z	製造品出荷額等 有給休暇取得率 就職決定者数 観光入込客数

(注)「観光入込客数」は、日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者の人数を示している。

(「鳥取県令和新时代創生戦略」をもとに作成)

Ⅳ ハザードマップ (津波)



指定避難場所	
津波浸水想定	
20m ~	
10m ~ 20m	
5m ~ 10m	
3m ~ 5m	
0.5m ~ 3m	
0.5m ~ 1m	
~ 0.5m	
~ 0.3m	

(国土交通省ハザードマップポータルサイトを もとに作成)

- (1) 次の文章は、Ⅰ、Ⅱの資料について述べたものである。文章中の ①，（ ② ）にあてはまる文やことばとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中からそれぞれ選びなさい。

Ⅰの資料では、全都道府県の2020年現在の人口と、市町村の減少割合を「・」で示している。X（丸で囲んだ範囲）に含まれる都道府県では、Y（四角で囲んだ範囲）に含まれる都道府県に比べて、市町村合併の進んだ2000年代までに ① と考えられる。

また、Ⅱの資料は、Ⅰの資料中のX、Yのそれぞれから2県ずつ選び、その4県について、人口等を比較したものである。Ⅱの資料中のPは（ ② ）を示している。

- ア 人口が増加し、税収が伸びた市町村が多く、市町村合併の必要性が低かった
 イ 人口が減少し、財政状況の悪化する市町村が多く、市町村合併の必要性が高かった
 ウ 人口に占める65歳以上の割合
 エ 有業者に占める第三次産業の割合

- (2) 次の文章は、Ⅲの資料について述べたものである。Ⅲの資料中のZにあてはまるアイコンと、文章中の（ ③ ）にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下の表のアからエまでのの中から、また、文章中の（ ④ ）にあてはまる符号として最も適当なものを、Ⅱの資料中のAからDまでのの中からそれぞれ選びなさい。

鳥取県は、Ⅲの資料のような取組により、持続可能な地域社会の実現を目指しており、資料中の指標の一つを向上させるための具体的な手立てとして、（ ③ ）を推進するなどしている。なお、鳥取県は、Ⅱの資料中の（ ④ ）にあたる。

		ア	イ	ウ	エ
組 み 合 わ せ	Z (アイコン)	8 働きがいも 経済成長も 	8 働きがいも 経済成長も 	12 つくる責任 つかう責任 	12 つくる責任 つかう責任 
	③	エコツーリズム	工場の海外移転	エコツーリズム	工場の海外移転

- (3) 次の文章は、Ⅳの資料について述べたものである。文章中の（ ⑤ ）にあてはまる符号として最も適当なものを、Ⅱの資料中のAからDまでのの中から、また、文章中の（ ⑥ ），（ ⑦ ）にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでのの中からそれぞれ選びなさい。

Ⅳの資料は、Ⅱの資料中の4県のうち、（ ⑤ ）にある市のハザードマップの一部である。この市は県庁所在地の東方に位置し、太平洋に面している。Ⅳの資料中の塗りつぶされた部分は、津波による浸水想定地域を示しており、aの地点では（ ⑥ ）が、bの地点では（ ⑦ ）が市の指定避難場所となっている。

- ア ⑥ 津波避難タワー ⑦ 想定される津波の高さより標高が高い高台
 イ ⑥ 津波避難タワー ⑦ 海岸までの最短距離が1 km以上の施設
 ウ ⑥ 想定される津波の高さより標高が高い高台 ⑦ 津波避難タワー
 エ ⑥ 想定される津波の高さより標高が高い高台 ⑦ 海岸までの最短距離が1 km以上の施設
 オ ⑥ 海岸までの最短距離が1 km以上の施設 ⑦ 津波避難タワー
 カ ⑥ 海岸までの最短距離が1 km以上の施設 ⑦ 想定される津波の高さより標高が高い高台

4 次のⅠ、Ⅱ、Ⅲの資料は、生徒がアジア、アフリカ、北アメリカ、ヨーロッパの4州の水資源の利用状況等についてまとめたものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

なお、Ⅰの資料中のA、B、Cはアジア、アフリカ、北アメリカのいずれかであり、Ⅲの資料中のD、E、Fは米、大豆、バターのいずれかである。また、Ⅰ、Ⅱの資料中のX、Yには、それぞれ同じことばがあてはまり、生活用水、農業用水のいずれかである。

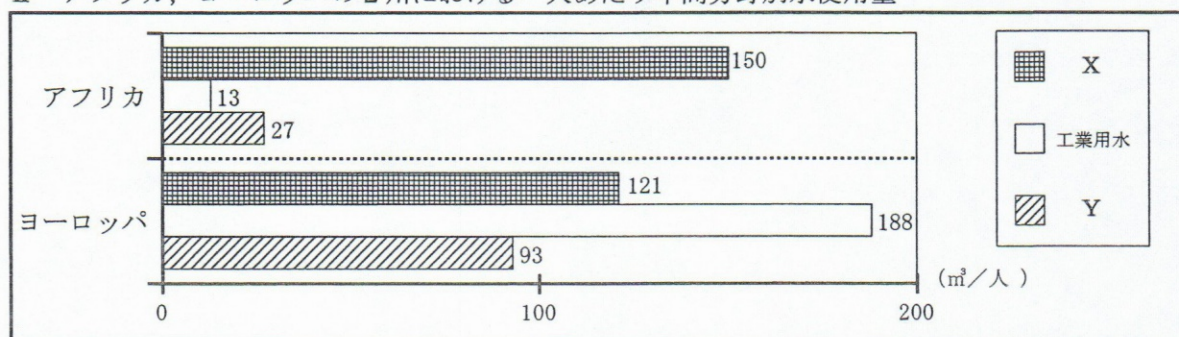
Ⅰ 4州の世界の6州に占める面積、人口の割合と州内における分野別水使用量の割合

州名	世界の6州に占める割合 (%)		州内における分野別水使用量の割合 (%)		
	面積	人口	X	工業用水	Y
ヨーロッパ	17	10	30	47	23
A	17	8	44	42	14
B	22	16	79	7	14
C	24	60	82	9	9

(注)「生活用水」は家庭用水(飲料水、調理、洗濯、風呂、掃除、水洗トイレ等)と都市活動用水(飲食店等の営業用水や公衆トイレ等に用いる公共用水、消火用水等)の合計を示している。

(国土交通省「令和3年版 日本の水資源」などをもとに作成)

Ⅱ アフリカ、ヨーロッパの2州における一人あたり年間分野別水使用量



(国土交通省「令和3年版 日本の水資源」などをもとに作成)

Ⅲ 農産物別の生産に必要な水の量等

農産物名	生産に必要な水の量 (m³/t)	日本における自給率 (%)	日本の輸入量全体に占める割合 (%)			
			アジア	アフリカ	北アメリカ	ヨーロッパ
D	3 700	97	53	0	47	0
E	2 500	6	1	0	85	0
F	13 200	95	0	0	2	37

(注)「生産に必要な水の量」は「バーチャルウォーター」とよばれ、輸入国が、その輸入産品を自国で1 t 生産したと仮定した場合に推定される水の必要量 (m³) を示している。

(「日本国勢図会 2022/23年版」などをもとに作成)

- (1) Iの資料中のA, Bの州名の組み合わせとして最も適当なものを, 次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア	A アジア	B アフリカ	イ	A アジア	B 北アメリカ
ウ	A アフリカ	B アジア	エ	A アフリカ	B 北アメリカ
オ	A 北アメリカ	B アジア	カ	A 北アメリカ	B アフリカ

- (2) 次の文章は, 生徒がIIの資料を用いて作成したレポートの一部である。文章中の()にあてはまることばとして最も適当なものを, 下のアからエまでのの中から選びなさい。

アフリカとヨーロッパの2州を比較すると, アフリカの方が一人あたりの()ことからヨーロッパに比べて衛生施設が整備されていない国が多いと考えられる。

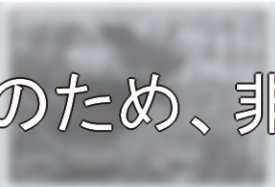
ア	生活用水の使用量が多い	イ	生活用水の使用量が少ない
ウ	農業用水の使用量が多い	エ	農業用水の使用量が少ない

- (3) 次の文章は, 生徒がIIIの資料について発表するために作成したメモの一部である。文章中の(①), (②)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを, 下のアからエまでのの中から選びなさい。

畜産物の生産には家畜の飼料として農作物が必要である。農作物の栽培にも水が必要なことから, IIIの資料中の農産物ではバター生産に必要な水の量が最も(①)なっていると考えられる。また, 北アメリカで干ばつや地下水の枯渇など, 水資源に関する問題が生じた場合, (②)の方が日本での供給に影響が出る可能性が高いと考えられる。

ア	① 多く	② 米よりも大豆	イ	① 多く	② 大豆よりも米
ウ	① 少なく	② 米よりも大豆	エ	① 少なく	② 大豆よりも米

- (4) 次のアからエまでは, 4州それぞれの水に関連する風景の写真と, その写真についての説明文である。アからエまでに示された風景が位置する場所を日本との時差の小さい順に並べたとき, 2番目になるものを選びなさい。

ア	イ	ウ	エ
			
ヒマラヤ山脈を源流とする大河のほとりに位置するヒンドゥー教の聖地で, 多くの信者が巡礼で訪れる。	本初子午線の西側, イベリア半島に位置する宮殿で, 宮殿内には大量の水が引き込まれている。	大陸の西部に位置する峡谷で, ロッキー山脈を源流とするコロラド川の侵食作用により形成された。	大陸の東部, 赤道直下に位置する世界第3位の面積をもつ湖で, ナイル川の水源となっている。

著作権保護のため、非表示

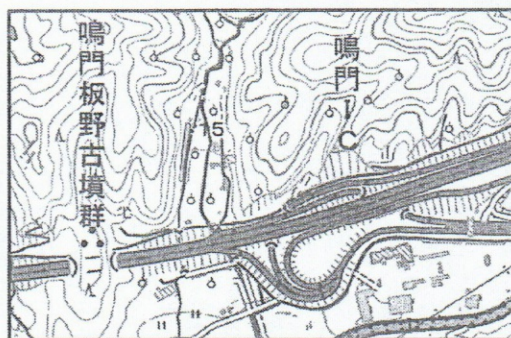
5 社会資本の整備に関するⅠからⅢまでの資料をみて、あとの(1)から(6)までの問いに答えなさい。

Ⅰ 生徒が地域の高速道路建設についてまとめたレポートの一部

徳島県と香川県を結ぶ高速道路の建設に際し、切り崩す予定であった丘陵で鳴門板野古墳群が発見された。古墳群の中の前方後円墳は、この地域に(①)時期につくられたものと考えられる。

高速道路は右の地図のように建設され、当初の予定よりも工事期間は延びたが、公正と効率の観点からみると、②に配慮したものとなった。

また、鳴門ICから徳島・香川県境までの区間では、高速道路の建設に伴って496人の住民が用地の提供に応じ、180戸が移転することとなった。



(国土地理院 地理院地図により作成)

(1) Ⅰの資料中の(①), ② にあてはまることばとして最も適当なものを、次のアからクまでのの中からそれぞれ選びなさい。

- ア 多賀城がおかれた イ 国風文化の影響が及んだ
- ウ 大宰府がおかれた エ 大和政権の影響が及んだ
- オ 古墳群の下にトンネルを建設し、文化財を保存することで、公正の観点
- カ 古墳群の下にトンネルを建設し、道路本体の建設費を抑えることで、効率の観点
- キ 鳴門ICを古墳群の西側に設置し、文化財を保存することで、公正の観点
- ク 鳴門ICを古墳群の西側に設置し、道路本体の建設費を抑えることで、効率の観点

(2) Ⅰの資料のような、高速道路の建設に伴って文化財が発見されるというケースに際して、15歳の生徒がとる行動として法律の上で認められていないものを、次のアからオまでのの中から全て選びなさい。

- ア 文化財の価値を知ってもらうためにボランティアガイドをつとめる。
- イ 文化財の保存を求める請願書を市議会に提出する。
- ウ 文化財調査後の高速道路早期完成を訴える署名活動に参加する。
- エ 市議会議員選挙で文化財調査後の高速道路早期完成を公約とする候補者に投票する。
- オ 文化財の保存を公約として市議会議員選挙に立候補する。

(3) 次の文章は、Ⅰの資料に関連して述べたものである。文章中の(③)から(⑤)までにあてはまることばとして最も適当なものを、下のアからキまでのの中からそれぞれ選びなさい。

なお、文章中の2か所の(③)には同じことばがあてはまる。

日本国憲法の第12条により、国民の自由や権利は「濫用してはならないのであって、常に(③)のためにこれを利用する責任を負う」とされている。Ⅰの資料では、(④)が(③)にあたり、住民の居住の自由や財産権が制限され、移転が実施されたと考えられる。憲法に規定される自由権は人権保障の中心であるが、第22条や第29条が保障する(⑤)は、より快適な社会を実現するという観点から制限されることがある。

- ア 公共の福祉 イ 法の下での平等 ウ 鳴門板野古墳群の調査
- エ 高速道路の建設 オ 身体的自由 カ 経済活動の自由
- キ 精神の自由

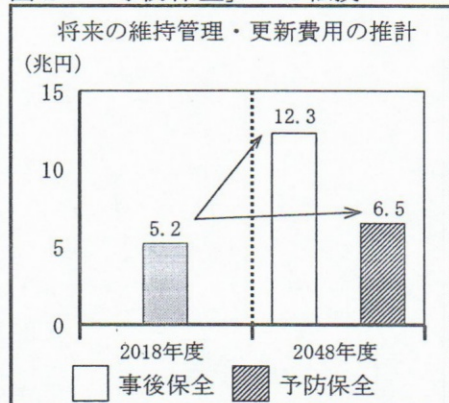
Ⅱ 生徒が社会資本の整備に関する今後の課題についてまとめたレポートの一部

表1 建設後50年以上経過する道路施設の割合(%)

	2020年3月	2030年3月	2040年3月
橋	30	55	75
トンネル	22	36	53

(国土交通省「インフラ長寿命化計画」(令和3年)をもとに作成)

図1 「予防保全」への転換



道路などの社会資本について、今後の維持管理・更新を「事後保全」により行った場合、30年後、その費用は約2.4倍増加。「予防保全」に転換した場合、約1.3倍増加。

(注) ○更新 = 施設を作り直すこと。

○事後保全 = 施設に不具合が生じてから補修などの対策を講じること。

○予防保全 = 施設に不具合が生じる前に補修などの対策を講じること。

(国土交通省「予防保全型のインフラ老朽化対策の推進」(令和2年)をもとに作成)

表2 道路の維持、補修の考え方

選択肢	%
補修するよりも積極的に作り直す	21.1
傷みが大きくなったら補修し、必要に応じて作り直す	5.3
傷みが小さいうちに予防的に補修し、長持ちさせる	41.1
施設の集約や撤去を進める	25.0
その他・無回答	7.5

表3 力を入れてほしい道路分野(複数回答)

順位	選択肢	%
1	災害に備えた対策	64.0
2	狭い道路や急カーブの改良	51.3
3	歩道の整備	39.1
⋮	⋮	⋮
9	清掃や修繕などの維持管理の充実	28.0
⋮	⋮	⋮
17	特になし・その他・無回答	4.4

(表2、表3とも内閣府「令和3年度 道路に関する世論調査」をもとに作成)

表1をみると、現在15歳の私たちが30歳を超えるころには、道路施設の老朽化が進むことがわかる。また、そのころには、現在よりも ⑥ ことが予測されていることから国は図1の見出しのような方針を示している。

世論調査の結果、この方針に示された考え方は、表2で ⑦ に力を入れてほしいと思っている人が多いことがわかる。

(4) Ⅱの資料中の ⑥ , ⑦ にあてはまることばとして最も適当なものを、次のアからキまでの中からそれぞれ選びなさい。

ア 電気自動車が増加し、住宅への充電設備の設置が進む

イ 少子高齢化が進んで労働人口が減少し、税収が減る

ウ 第一次産業に従事する人が減り、食料自給率が低下する

エ 最も多くの人に支持されていることがわかるが、表3では、道路の維持管理よりもそれ以外

オ 最も多くの人に支持されていることがわかり、表3でも、道路の災害対策よりも維持管理

カ 7割以上の人に支持されていることがわかるが、表3では、道路の維持管理よりもそれ以外

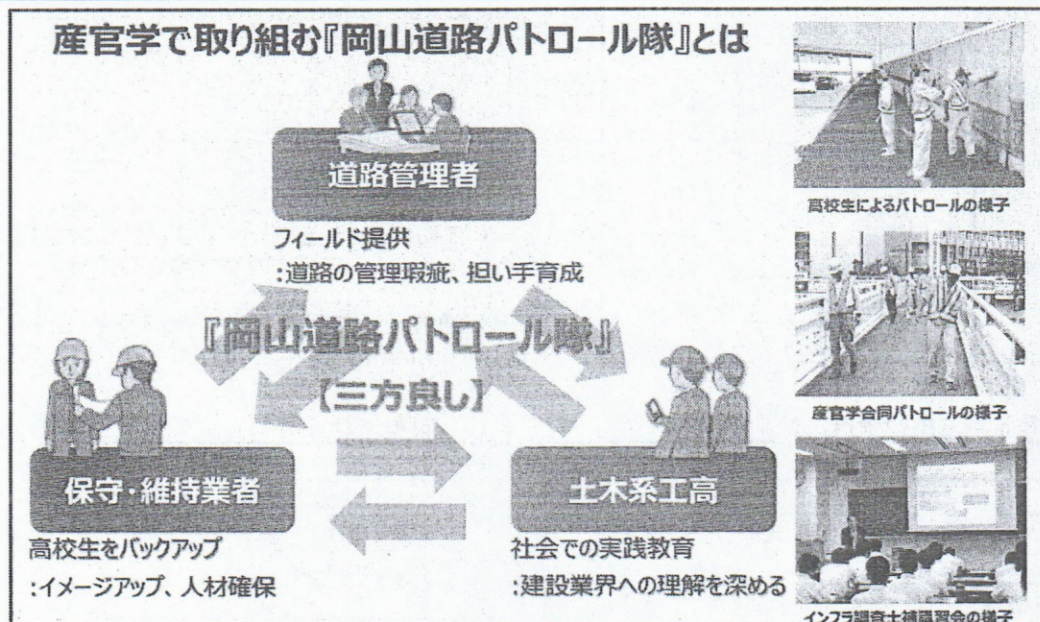
キ 7割以上の人に支持されていることがわかり、表3でも、道路の災害対策よりも維持管理

- (5) 次の文章は、生徒が道路の維持管理について、下の図2をもとに作成したレポートの一部である。文章中の(⑧), (⑨)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、あとのアからエまでのの中から選びなさい。

なお、文章中の2か所の(⑧)には同じことばがあてはまる。

『岡山道路パトロール隊』は、道路の維持管理という社会課題について、工業高校生が学校での学びを生かして(⑧)するものである。下の図中の「(⑨)」は、多くの場合、行政機関が担うが、道路の維持管理をはじめ、全ての社会課題を行政機関だけで解決することは難しい。これからの社会を支えるためには、私たちも、社会の一員であることを自覚して、積極的に(⑧)することが大切である。

図2



(注) 管理瑕疵^{かし} = 本来行うべき管理が十分にできていないこと。

(国土交通省「第5回インフラメンテナンス大賞(令和3年)」より抜粋)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| ア ⑧ 社会に参画 | ⑨ 保守・維持業者 | イ ⑧ 社会に参画 | ⑨ 道路管理者 |
| ウ ⑧ 利潤を追求 | ⑨ 保守・維持業者 | エ ⑧ 利潤を追求 | ⑨ 道路管理者 |

Ⅲ 生徒が公共事業の意義についてまとめたレポートの一部

国や地方公共団体が道路などの社会資本を整備する事業のことを公共事業という。不景気のときには、国や地方公共団体は、(⑩)ことを目的として公共事業関係の予算額を増やし、景気の回復を図ろうとすることがある。世界恐慌の際に(⑪)の中にも、こうした試みが見られる。

- (6) Ⅲの資料中の(⑩), (⑪)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

- | | |
|---------------|---------------------|
| ア ⑩ 各銀行の国債を買う | ⑪ アメリカのとったニューディール政策 |
| イ ⑩ 各銀行の国債を買う | ⑪ イギリスのとったブロック経済 |
| ウ ⑩ 企業の仕事を増やす | ⑪ アメリカのとったニューディール政策 |
| エ ⑩ 企業の仕事を増やす | ⑪ イギリスのとったブロック経済 |

(問題はこれで終わりです。)

令和5年学力検査 全日制課程 一般選抜

第3時限 社会正答

問題番号		配点		正答	配点上の注意事項
大問	小問	大問	小問		
1	(1)	3 点	1	①:イ ②:キ	二つともできて1点。
	(2)		1	ウ	
	(3)		1	ウ	
2	(1)	5 点	1	①:ア ②:エ	二つともできて1点。
	(2)		2	③:イ ④:オ ⑤:キ	③, ④がともにできて1点。 ⑤ができて1点。
	(3)		1	ア	
	(4)		1	ウ	
3	(1)	3 点	1	①:イ ②:ウ	二つともできて1点。
	(2)		1	Z③:ア ④:B	二つともできて1点。
	(3)		1	⑤:C ⑥⑦:ア	二つともできて1点。
4	(1)	4 点	1	カ	
	(2)		1	イ	
	(3)		1	ア	
	(4)		1	エ	
5	(1)	7 点	1	①:エ ②:オ	二つともできて1点。
	(2)		1	エ, オ	全てできて1点。
	(3)		2	③:ア ④:エ ⑤:カ	三つともできて2点。
	(4)		1	⑥:イ ⑦:エ	二つともできて1点。
	(5)		1	イ	
	(6)		1	ウ	
合 計		22点			

氏 名	
-----	--

受 検 番 号				
0	0	0	0	0
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9

【解答上の注意】

- 1 HB 以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使用すること。
- 2 マーク欄は、下の例を参考にして塗りつぶすこと。
- 3 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
- 4 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしないこと。

良い例

悪い例					
小さい	上だけ	線	丸囲み	バツ	うすい

1	(1)	①	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
		②	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	(2)	③	ア	イ	ウ	エ			
		④	ア	イ	ウ	エ			

3	(1)	①	ア	イ	ウ	エ
		②	ア	イ	ウ	エ
	(2)	Z ③	ア	イ	ウ	エ
		④	A	B	C	D
	(3)	⑤	A	B	C	D
		⑥⑦	ア	イ	ウ	エ

2	(1)	①	ア	イ	ウ	エ	オ	カ			
		②	ア	イ	ウ	エ	オ	カ			
	(2)	③	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
		④	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
		⑤	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
	(3)	⑥	ア	イ	ウ	エ	オ	カ			
	(4)	⑦	ア	イ	ウ	エ					

4	(1)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
	(2)	ア	イ	ウ	エ		
	(3)	ア	イ	ウ	エ		
	(4)	ア	イ	ウ	エ		

5	(1)	①	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
		②	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	(2)	③	ア	イ	ウ	エ	オ			
		④	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
		⑤	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	(3)	⑥	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
		⑦	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	(4)	⑧	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	(5)	⑨	ア	イ	ウ	エ				
	(6)	⑩	ア	イ	ウ	エ				